

# 寺報

龍正寺

〈日なは44号〉



〈平成24年 1月〉

宝龍会  
護持会



新年は辰年、龍の年。龍は十二支中、ただ一つ、人の想像から生まれた動物です。その猛々しくも威厳に満ちた姿に、人々はどのような思いを託して来たのでしょうか。

## 飛龍雲に乗る

**皇**帝の顔を「龍顔」と称したように、古代中国では、龍は無尽の権力と超越性を象徴するものでした。天才や英雄もまた、よく龍にたとえられます。

「孔明臥龍（こうめいがりゅう）」は、まだ世に出ていない非凡な人物の意味。孔明とは、もとより『三国志』で英雄・劉備の名参謀として活躍する諸葛孔明。臥龍とは、淵に潜んでいる龍のことで、孔明の才能を惜しむ人が劉備に「諸葛孔明は臥龍なり」と推挙した故事に由来します。

『韓非子』難勢篇に紹介される「飛龍乗

雲」は、英雄が時に乗じて勢いを得、能力を存分に発揮することを、雲に乗って天高く飛翔する龍にたとえたもの。天に至れば「飛龍在天」となります。

また、わが国でもおなじみの「画龍点睛」は、最期の仕上げともいべき物事の眼目を、龍の瞳にたとえています。中国南北朝時代の名画家が、寺の壁に4頭の龍を描いたが、瞳を入れると天に飛び去ってしまうと最後まで描き入れなかった。それを信用しない人が「試しに入れてみてくれ」と要求するので、2頭の龍に瞳を描き入れたところ、たちまち天に昇り、2頭だけがそのまま残ったという故事に由来します。

## 黄河から 龍馬現る

**龍**とは、なにか——。これまで諸説が唱えられてきました。

蛇、鰐、魚、豚、犬、ミミズなど、特定の動物を龍の原形とする説。いや、古代中国で各部族のトーテムとして崇められた多くの動物の複合獣であるとする説。また、無尽の力で天と地を結ぶ竜巻、あるいは稲妻と雷を原形とする説など。

その中に「龍は馬なり」という説があります。根拠の一つが、龍馬伝説。古代中国

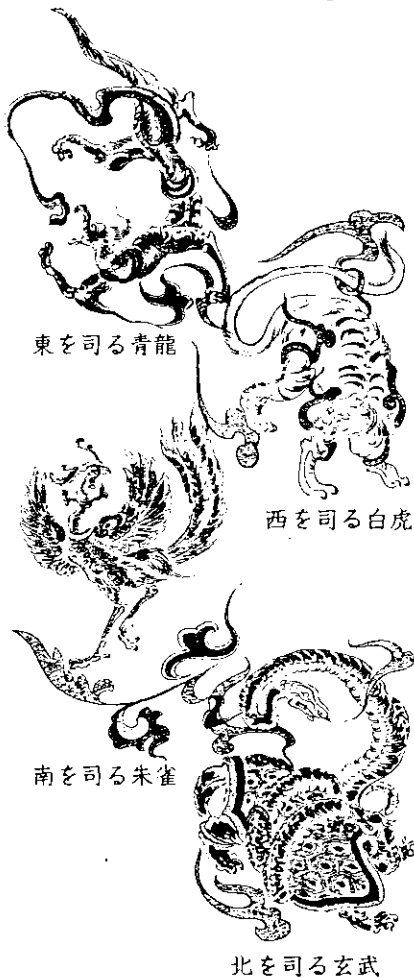
で、易の八卦の元になったとされた神秘的な図表『河図（かど）』は、黄河から出現した龍馬がもたらしたもので、その背中のつむじをかたどったと言われます。

また、龍は皇帝の馬とされ、大きく立派な馬は龍馬と呼ばれました。

奈良県明日香村にある高松塚古墳には、天の四方の方角を司るとされる四神——東の青龍、西の白虎、南の朱雀、北の玄武が描かれています（ただし朱雀は漆喰剥離のため不明）。東壁の青龍は、全身を緑色の鱗に覆われ、頭をもたげて雲に乗り、両眼と口を大きく開けて威嚇する姿で描かれています。その頭部と背中に、馬のような立派なたてがみを持っています。

### 四神が描かれた高松塚古墳とは

飛鳥歴史公園内にある古墳で、7世紀末から8世紀初頭にかけて造られたとされる。被葬者は特定されていない。1972年に発見された。彩色の壁画はその2年後に国宝に指定された。



東を司る青龍

西を司る白虎

南を司る朱雀

北を司る玄武

※各イラストはイメージです

## 龍馬の精神

中国では、今もおめでたい言葉として「龍馬精神」がよく使われています。

何度も左遷の憂き目にあいながら、清廉実直に4代の皇帝に仕えた人物を称賛した詩から生まれたこの言葉。龍馬の精神とは、年老いてもかくしゃくとして、なお意気盛んなことを言います。

わが国で龍馬と言えば、誰もが思い浮かべるのが坂本龍馬。実名は、坂本直陰、のちに直柔（なおなり）。生まれ年は天保6年（1835）の末年です。龍馬という幼名・通称の由来は、出産の際に母親が飛龍の夢を見たなど、諸説ありますが定かではありません。

平成22年（2010）にもNHK大河ドラマになるなど、衰えを知らない龍馬人気。その原点となったのが、司馬遼太郎著『竜馬が行く』です。

「筆者はこの小説を構想するにあたって、事をなす人間の条件というものを考えたかった。それを坂本龍馬という、田舎生まれの、地位も学問もなく、ただ一片の志のみを持っていた若者に求めた」

※『竜馬が行く』より

では、事をなす人間、飛龍となって天高く駆けのぼる条件とは、なにか——。

慶長3年（1867）、大政奉還の命運を左右する御前会議が長引き、結果を待つ志士が不安を隠せず、「龍馬、これは絶望かい」と言った言葉に、龍馬は次のように返します。

「世に絶望ということはない」

龍馬暗殺はこの年11月。龍馬が生涯を賭して夢見た新しい政府が誕生するのは翌年のこと。明治元年（1868）は、くしくも辰年、龍の年でした。

### 幕末の風雲児・坂本龍馬

土佐藩郷士・坂本八平の次男として誕生。その後、28歳で土佐藩を脱藩。薩長同盟の成立や大政奉還の実現などに尽力し、混雑とした幕末の日本を切り開いた。しかし、大政奉還のひと月後、京都・近江屋にて何者かに暗殺され33歳の生涯を閉じた。



## 枯木に龍吟を聴く

平成23年3月11日、東北を襲った未曾有の大災害により、多くの尊い生命が失われ、多くの方々が生活の基盤を奪われました。

鎮魂の思い深く、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、新年は復興再生の年としなければなりません。

『碧巖録』を出典とする「枯木龍吟（こぼくりゅうぎん）」とは、枯れてしまったように見える木が、風に吹かれて龍の唸り声のような勢いよい音を立てること。龍吟は、生命のしるし。苦境を脱して、生命力を回復するたとえに用いられます。

十二支第5番目の辰は、時季では旧暦3月の春の盛りから初夏にかけて。辰年は、陽気高く、万物の活力が旺盛になる年と言えます。その旺盛な活力を味方に、ひとりひとりが一寸の志を胸に、決して絶望することなく、皆で力を合わせて復興への道筋を着実に歩いていく年としたいものです。

被災地が、そして日本が、龍のように蘇る日まで。

（文：坂上雅子）

### ●参考文献（本文中紹介以外）

- |                   |       |         |
|-------------------|-------|---------|
| 中国の十二支動物誌         | 鄭 高詠  | 白帝社     |
| 司馬遼太郎 歴史物語        | 碓井 昭雄 | 株式会社心交社 |
| 十二支致              | 前尾繁三郎 | 思文閣出版   |
| 十二支の四字熟語          | 諏訪原 研 | 大修館書店   |
| 続十二支のE話           | 戸出 武  | 大龍堂書店   |
| 高知県立坂本龍馬記念館ホームページ |       |         |

# 往職一言

平成27年壬辰年を迎えました。皆々様のご家庭では新しい心で迎えられた事とお慶び申し上げます。さて昨年は東日本大震災・原発・台風と大きな天災・人災に見まわれ国民が大変心を痛めた年であり、またこれによってお互いが助けあうという大きな絆が出来た年でもあると思います。我が宗門(日蓮宗)では運動として「立正安国・お題目結縁運動」で目指す「安穏な社会づくり・人づくり」をスローガンとして前進していきます。日蓮大聖人は万民に安心をもたし救済せんとお誓いになり立正安国論を執筆されました。その一節に『汝早く信仰の寸心を改めて速やかに冥乗の一善に帰せよ。しかれば則ち三界は皆仏国なり。仏国其れ哀へんや。十方は悉く国土なり。国土何ぞやぶれんや。国に哀微なく土破壊なくんば、身は是れ安全にして心は是れ禪定なるん、この詞この言信ずべく崇むべし』とあります。法華経に帰依すれば「国土安穏となり人々を救われぬ」とお示しになられているのです。私達日蓮宗宗徒は日蓮大聖人のお教えにしたがい御題目を唱え国土安穏。そして日々のお侍りに感謝しましょう。

合掌

## 〜 護持会 だより 〜

新年、平成 24 年が始まりました。

昨年はとても悲しく、辛い一年でした。

日蓮大聖人のお教え「立正安国論」のごとくに日本の大國難が訪れました。しかしこの日本国は力強い国です。このような時世だからこそ、国民は一つとなり、力を合わせ、助け合い、励まし合える、素晴らしい国民性があり、それか底力のある日本国なのであります。

私達、日蓮宗宗徒はどのような大難が起ころうとも、決してくじけずに乗り越え来た日蓮大聖人様を宗祖としています。どのような困難にも立ち向かうお教えを頂いている事に誇りを持ちましょう。

龍正寺護持会は今年も、寺院の隆昌、維持の為に檀信徒の皆様と共にがんばりたいと思います。

どうか、皆様の熱い御意見、御要望、感想などを頂けると幸いです。

又、大祭の前日、当日などに役員と共にお手伝いをして頂ける方がありましたら、是非寺院役員に声をかけて下さい。

皆さん、一緒に功德をつみましょう。よろしくお願ひ致します。



## 新しい年が来たー!!

平成24年が始まりました。昨年は日本に大きな出来事がありました。そうです。3月11日の大震災、大つなみです。

この災害がどれほどの多くの人々に深い悲しみを与えた事でしょう。しかし、それだけではありません。

この大震災後日本人が色々な事を改めて考えました。

それは、家族愛だったり、自然への思いだったり、ごく自然に生活が出来る事への感謝だったり…。様々な事柄を改めて見直す一年でした。

また、世界では独裁者とよばれている人達が亡くなったり、何かに気づき、改めたり、見直したりしなくては行けない、そのような一年だったように思います。

さて、平成24年の幕があげました。まだまだ、この日本国は去年起きた国難から立ち直ってはいません。

きっと、長〜い時間を必要とする事になるでしょう。

しかし、私達一人、一人が這い上がる、立ち上がるとしています。

日蓮大聖人のお教えのように、このような時だからこそ、毅然と恐れることなく、天地にしっかり踏ん張って生きていきたいと思います。

そして、今、チャンスの時です。

何かか変わる、変化の時です。

私自身も去年の大震災以後、自分の人生観が大きく変わりました。

人生の半分を過ぎて、今までの自分自身を振り返りました。

晩年をどのように生きていか！

悔いのない人生を、大地にしっかり踏ん張って、草の根っこのように地を這って、前を向って歩きたい！

少々の風雨には負けぬ人生を生きていきたい。

そう思えるのも、ここまで無事に家族何事もなく生きてこられたおかげです。その事に心から感謝です。御神仏の御守護、御加護のおかげであり、御先祖の見守りがあったからこそです。

こいから毎日の生活の中で、感謝を忘れる事なく、そして、私も何か社会の一員として貢献できる事をしていこうと思います。誰かの為に何かをさせてもらえる事は素晴らしい事です。

それは…「私は生きてゐる」ことへの理念・信念にまると思えるのです。

今年は辰年です。登り龍に乗り上昇しまはう。

皆様にとって幸多き一年になりますように

お祈り致します。

※今年も「日女E時報」を通じて色々な事柄を発信していきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。



## 親学のすすめ

明けましておめでとうございませう。今年もよろしくお願ひ  
致します。

昨年末に子育てについての講演会に参加させて頂き  
ました。「子供の個性に合わせた声かけフレーズ」発見  
法。自分が子供のためにと思つて掛けていた言葉  
が、伝わっていないよ…とかどうして全然聞いてくれ  
ないんだらう…と思つた事はありますか？同じ声の  
掛け方をしても、心に響く子とそうでない子がいる。それ  
はその子その子が持つ個性の違いによるものだと…  
自分の子供はどんなタイプなのか？どんな言葉が響  
くのかを考える充実した時間となりました。

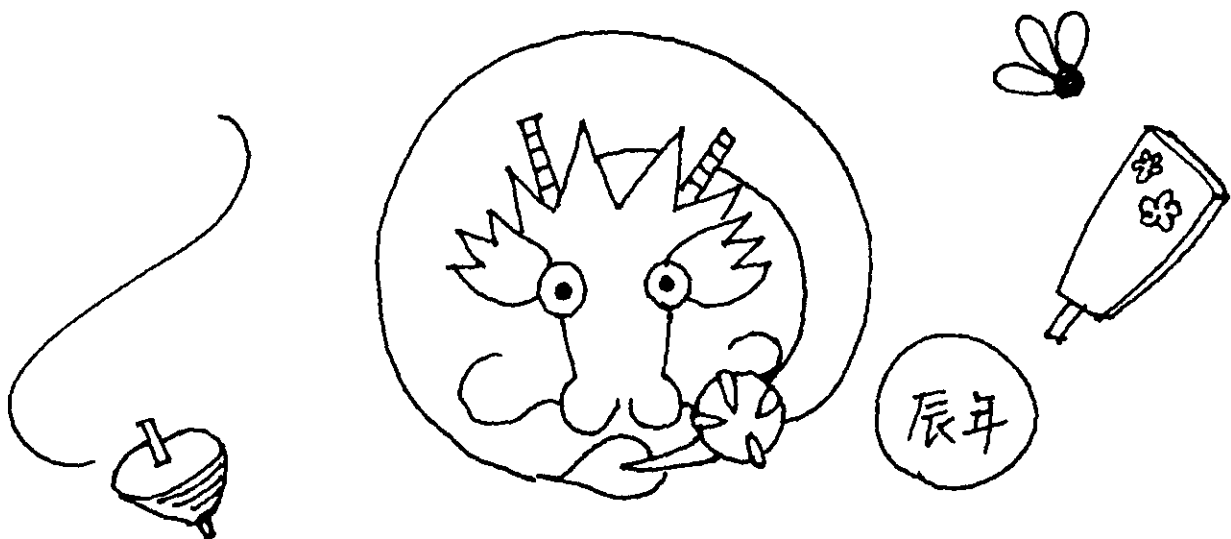
「親が変われば子も変わる」お上人様からも教えて  
頂いています。幼稚園の情報誌にもまさに同じ言  
葉が載っていました。子育ては親から子供への一方通行  
ではなく、親が子供を通して学び、親として成長して  
いく事だと書かれていました。その通りですね。私は何  
度も、この言葉に助けられたか分かりません。子供の  
行動かにイラッとした時、自分を振り返ると、「〇〇



「だから子供が〇〇したんだ」と反省して、自分なりに  
努力して「こう、ここは変えて「こう」と考えられる時が  
増えたように思います。また「また」「あーしまった」と  
思う事も多いですが、そんな経験が私を講演会  
へと導いてくれた気がします。こうやって少しずつでも前  
進していきたいと思います。講演会に参加させて頂い  
たお陰で「心も緩んで」「よおーし、やってみよう!!」という  
気持ちにもなれました。

最近では、託児付きの講演会や、育児支援も沢  
山増えてきました。子供が小さいからと諦めるので  
はなく、今だから出来る事に積極的に挑戦してい  
き、子育てを楽しみたいですね。

子育て中の皆さん、平成24年を<sup>おやがく</sup>親学元年にしてみま  
せんか？



# 👑 新たな気持ちで前へ進もう 👑

新年あけまして おめでとうニガ"います!!

平成 24年 新しい年の始まりです。

今年はいったいどんな年になるのか …… いい年に  
していきたいと思"います。

我が子も今年の4月からいよいよ入園です。

またまた生活は一変するかと思"います。親も子も  
この変化に慣れるまでしばし時間はかかるかもしれ  
ません。共に頑張"って行"うと思"っています。

子供の成長は親にとってとても有難いものです。

この前生まれた我が子が"早いもので"幼稚園です。

大変な事もたくさんありましたが" やはり健康で来  
れて無事にもうすぐ入園の時期を迎える事が出来る  
事に感謝します。また新たな子供の一面を見る事  
が"今からとても楽しみです。

今年1年どんな年にするかは 自分次第ですわ!

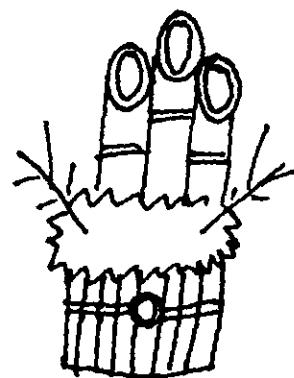
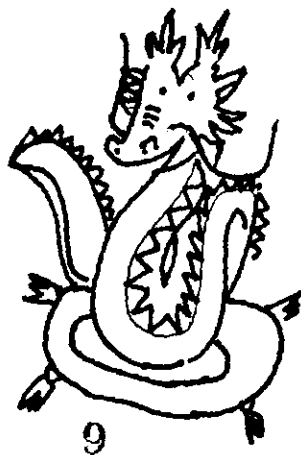
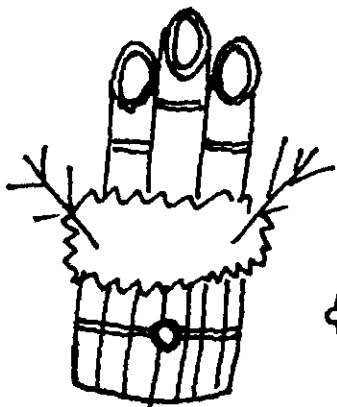
自分の心がけ次第でどんな年にも変化すると思います。  
だからこそ小怖くもあり 楽しくもあります。

自分にとってマイナスな事には必要以上に執着しない  
事が大切ですね。マイナスな事への執着は誰もかよく  
ない事だと分かっていながら 自然にしてしまうもので  
すね。気分を切り替え 嫌な事を考える時間を減ら  
す努力をする事も大事ですね。

何事も前向きに..... 今日 1日いい日だった  
なあ〜って思える日か 1日でも多く出来る様に  
していきたいと思っています。

今年 1年もどうぞ この「日なた」をよろしくお願  
いいたします。

ご意見、ご感想もお待ちしております。



## ♡ 新年を迎えて ♡

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお頼み致します (^^)♡

日なたを通してたくさんの方達に幸せな気持ちが届きますように。。そして一年間皆さんと共にたくさんの幸せが感じられたらなあと思っております。

平成24年度に入り、昨年は本当に色々な事があったなあと思っております。1000年に1度といわれる天災が起こったり、地震は日本のあちこりですごーと起きていた気がします。いくら科学が進歩しても自然界の中では人は無力であり、色々な事に気がつかされた年でもあった気がします。

そんな出来事があったからこそ人間は1人では弱い生き物ですが、人と人の絆が大きな勇気を生み出す事、お互いに助け合い、言葉の掛け合いなど、常日頃の何気ない些細な思いやりが、人が前に進む為に勇気を与える事なども

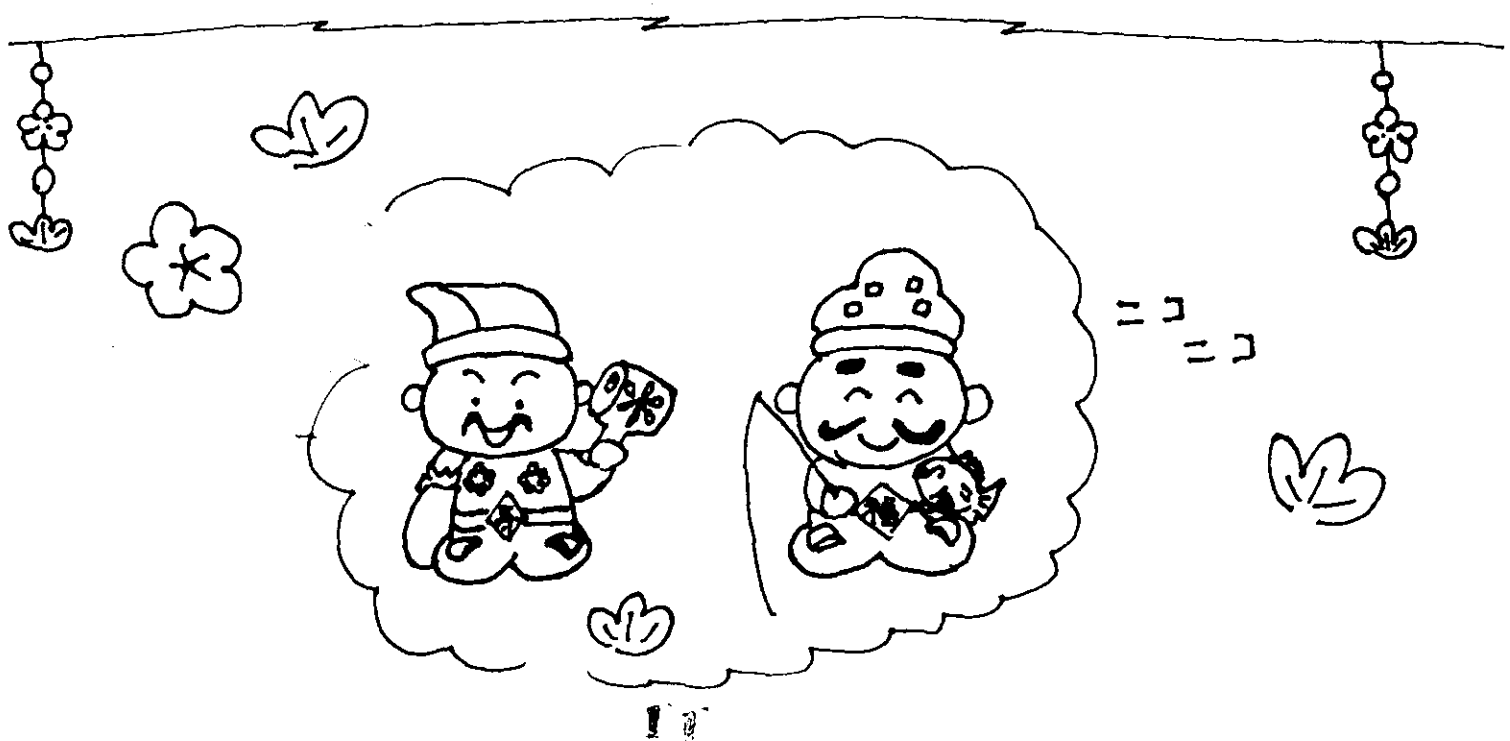
学んだ気がします。

有難うという言葉は有る事が難しいと書きまふよね。

家族だから当たり前、これぐらい言わなくてもわかるだろうと、自分の物差しで見るのではなく、まずは私自身も主人や子供達から勇気をもらっている事、優しい気持ちももらっている事、周りの人達に支えられている事を一つでも多く言葉にして有難うを伝えていける一年間にしたいなあと思います。

今年も一年間どうぞよろしくお頼いします。

世界中が思いやりであふれ誰に聞いてもブータンの国のように幸せです。と言える一年間になりまふように😊



## < 1月の予定 >

1月3日(火)	午後5時	片付け、準備活動
1月6日(金)	"	鏡餅片付け
1月10日(火)	各々の時間で	清掃・準備活動
12日(木)	↓	↓
1月13日(金)	法要終了後	片付け、準備活動
17日(火)	各々の時間で	清掃・準備活動
1月23日(月)	"	"
27日(金)	午前10時	↓
28日(土)	"	飾り付け

## < 寺院行事内容 >

1月1日(日)	午前5時	元旦祝禱会
4日(水)	午前10時	初大古久尊天祈願会
13日(金)	"	初宗祖日蓮聖人報恩会
18日(水)	"	初鬼子母尊神 七面大明神) 祈禱会
29日(日)	午後1時30分	節分、皇祭り祈禱会

## < 住職行事内容 >

1月20日(金)	午後2時	新春法縁講
----------	------	-------